



## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月31日

上場会社名 リーダー電子株式会社  
 コード番号 6867 URL <https://www.leader.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長尾 行造

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 梶川 元靖

TEL 045-541-2121

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	2,549	9.2	235	4.1	230	2.0	167	16.4
2019年3月期第3四半期	2,334	22.0	226		235		200	

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 159百万円 ( 11.0%) 2019年3月期第3四半期 179百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	46.10	45.04
2019年3月期第3四半期	56.53	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	5,499	4,019	72.8	953.47
2019年3月期	4,303	3,306	76.7	930.04

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 4,003百万円 2019年3月期 3,300百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		25.00	25.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,050	18.1	520	60.5	525	56.2	470	51.0	132.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、連結子会社リーダー・ヨーロッパ・リミテッドを通じて買収したPhabrix Limitedを、当第3四半期連結会計期間において、新たに連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	4,199,001 株	2019年3月期	4,191,801 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2020年3月期3Q	95 株	2019年3月期	642,512 株
------------	------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	3,630,376 株	2019年3月期3Q	3,541,935 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、個人消費は堅調に推移したものの、大企業・製造業の業況判断が4四半期連続で低下し、景気停滞が懸念されております。

また世界経済においては、米中間の貿易摩擦問題の長期化による中国経済の減速懸念や英国のEU離脱等に関する不確実性から、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経済環境の中、当社グループが関連する放送業界におきましては、国内では引き続き4K映像フォーマット対応関連設備の需要が堅調に推移いたしました。また欧州において4K映像フォーマット対応関連設備が好調に推移し、さらに北米において主力の放送関連機器の需要が好調に推移し、売上は増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,549百万円（前年同期比9.2%増）、経常利益230百万円（前年同期比2.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益167百万円（前年同期比16.4%減）となりました。

セグメントの業績につきましては、当社グループの事業が電気計測器の開発と製造、販売を行う単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

これに代わる売上高の品目別内訳及び地域別内訳は次のとおりであります。

#### <品目別内訳>

##### ① ビデオ関連

4K映像フォーマット対応関連機器につきましては、国内及び欧州において販売が好調に推移いたしました。

また、北米において主力の放送関連機器の販売が好調に推移いたしました。

この結果、売上高は2,260百万円（前年同期比13.0%増）となりました。

このうち、PHABRIX社の売上高は80百万円でした。

##### ② 電波関連

テレビの電界強度測定器の需要が停滞し、売上は減少いたしました。

この結果、売上高は174百万円（同23.1%減）となりました。

##### ③ その他

汎用計測機器・修理・部品等であり、特記すべき事項はありません。

売上高は114百万円（同6.3%増）となりました。

#### <地域別内訳>

##### ① 日本

日本国内におきましては、4K映像フォーマット対応関連機器などをはじめとする主力の放送関連機器の販売が堅調に推移し、売上は増加いたしました。

この結果、売上高は1,645百万円（同2.7%増）となりました。

##### ② 北米・中南米

北米・中南米におきましては、主力の放送関連機器の販売が好調に推移し、売上は増加いたしました。

この結果、売上高は251百万円（同27.5%増）となりました。

##### ③ アジア

アジアにおきましては、中国において主力の放送関連機器の販売がやや停滞し、売上は減少いたしました。

この結果、売上高は375百万円（同4.8%減）となりました。

##### ④ その他

その他の地域におきましては、欧州において4K映像フォーマット対応関連機器などをはじめとする主力の放送関連機器の販売が好調に推移し、売上は増加いたしました。

この結果、売上高は276百万円（同97.5%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,195百万円増加し、5,499百万円となりました。増加の主な要因は、商品及び製品が408百万円、のれんが297百万円増加したことなどによるものであります。

商品及び製品の増加理由といたしましては、年度末の需要に対応するため戦略的に在庫を増やしたためであります。

のれんの増加理由といたしましては、連結子会社リーダー・ヨーロッパ・リミテッドによりPhabrix Limitedを買収したことによるものであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べ481百万円増加し、1,479百万円となりました。増加の主な要因は、短期借入金が増加したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ713百万円増加し、4,019百万円となりました。自己資本比率は3.9ポイント減少し、72.8%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の当社グループが関連する放送業界におきましては、国内においては放送局のフルハイビジョン（2K）関連設備の更新需要に加え、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて高解像度を目指した4K放送への設備投資が継続されており、さらに、8K放送への設備投資も見込まれます。

海外においては欧州では4K映像フォーマット対応関連設備の需要及び映像信号のIP化への関連設備の需要が見込まれております。北米・中南米につきましても主力の放送関連機器の販売が好調に推移すると見込まれております。さらにアジアでは、フルハイビジョン（2K）放送への移行の本格化に伴う設備投資の活性化が引き続き見込まれております。

当社グループにおきましては、新商品のオプション拡充及び子会社となりましたPHABRIX社製品の販売により、更なる売上、利益の拡大に向け、国内外における営業力を強化させております。

今後も企業価値の向上に向けて、設備投資・研究開発投資・人材投資を積極的に推進してまいります。

なお、2019年7月31日に公表いたしました2020年3月期（通期）の連結業績予想につきましては、変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,785,745	1,833,196
受取手形及び売掛金	962,043	905,924
商品及び製品	234,246	642,383
仕掛品	40,407	84,818
原材料及び貯蔵品	139	54,520
短期貸付金	374,874	374,874
未収還付法人税等	0	58,656
その他	33,577	100,791
貸倒引当金	△2,505	△2,417
流動資産合計	3,428,530	4,052,749
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	468,911	479,724
土地	12,420	12,420
その他(純額)	96,299	101,877
有形固定資産合計	577,631	594,022
<b>無形固定資産</b>		
のれん	—	297,636
その他	88,453	351,179
無形固定資産合計	88,453	648,815
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	64,061	59,741
繰延税金資産	92,775	84,836
生命保険積立金	35,790	34,201
その他	18,633	26,769
貸倒引当金	△1,970	△1,970
投資その他の資産合計	209,289	203,579
固定資産合計	875,373	1,446,417
資産合計	4,303,904	5,499,167

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	161,678	146,932
短期借入金	—	519,007
未払法人税等	55,231	64,671
賞与引当金	56,743	29,961
その他	214,199	190,066
流動負債合計	487,853	950,639
固定負債		
退職給付に係る負債	469,769	445,781
繰延税金負債	—	41,335
その他	39,760	41,526
固定負債合計	509,529	528,643
負債合計	997,382	1,479,283
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,163,233	1,167,135
資本剰余金	1,277,230	1,706,452
利益剰余金	1,224,764	1,303,401
自己株式	△198,364	△29
株主資本合計	3,466,863	4,176,961
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,008	4,569
為替換算調整勘定	△173,882	△178,012
その他の包括利益累計額合計	△165,873	△173,443
新株予約権	5,531	16,366
純資産合計	3,306,521	4,019,883
負債純資産合計	4,303,904	5,499,167

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	2,334,349	2,549,242
売上原価	785,958	855,805
売上総利益	1,548,390	1,693,436
販売費及び一般管理費	1,322,129	1,457,877
営業利益	226,261	235,558
営業外収益		
受取利息	258	3,565
受取配当金	2,065	2,318
受取家賃	9,720	9,720
その他	819	2,447
営業外収益合計	12,864	18,052
営業外費用		
支払利息	—	1,702
売上割引	780	566
為替差損	2,944	20,528
その他	301	458
営業外費用合計	4,026	23,255
経常利益	235,099	230,355
特別利益		
固定資産売却益	113	352
特別利益合計	113	352
特別損失		
固定資産除却損	0	129
特別損失合計	0	129
税金等調整前四半期純利益	235,212	230,578
法人税、住民税及び事業税	43,924	57,622
法人税等調整額	△8,933	5,585
法人税等合計	34,991	63,208
四半期純利益	200,221	167,369
親会社株主に帰属する四半期純利益	200,221	167,369



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	200,221	167,369
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,846	△3,439
為替換算調整勘定	△5,839	△4,130
その他の包括利益合計	△20,685	△7,570
四半期包括利益	179,536	159,799
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	179,536	159,799
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年8月21日開催の取締役会決議に基づき、第2回新株予約権（第三者割当による行使価額修正条項付新株予約権）の権利行使による自己株式の処分を実施いたしました。

(1) 処分株式数	642,500株
(2) 資本剰余金の増加額	425,320千円
(3) 自己株式の減少額	198,422千円

この結果、当第3四半期連結累計期間末において資本剰余金が1,706,452千円、自己株式が29千円となっております。